

金剛山を登覽すへく翌朝汽車にて北行したり

著述紹介

滿鐵圖書館

松崎柔甫

○說文解字詁林

前に第一冊より第十八冊迄刊行し今回全部を了つた、上海の丁福保氏が數十年の心力を注いで說文說を網羅したもの、定價百元

自第十九冊至第四十五冊

○左貧集

六冊

北京修綆堂刊

定價八元五角

先年三十五歳で物故した著名なる學者劉師培の文集を重印したもので其の内容の充實と精確は文人の文章でなく眞に學者の研究として不朽に傳ふべきものの

○蘇曼殊全集

洋釘三冊

北新書局刊

定價三元一角

曼殊は日本の孤兒で廣東商蘇某に引取られて支那で成長し佛門に歸して印度

に遊び又還俗して操觚界に活躍した才人で民國七年に三十五歳で世を去つた
幼名は河合宗之助、本名は蘇立侯の遺著である

○曼殊年譜

洋釘一冊

全上刊

定價一元五角

曼殊の友人柳亞子の編したものである

○吳稚暉全集

六冊

北京樸社發賣

三元六角

現今政界學界に幅をきかせてをる新人吳氏の著なり

○中國學術論著

一冊

全上發賣

一元四角

梁啓超と章炳麟の論説を編纂したもの

○論文雜誌

一冊

定價三角

劉師培の集にしてもれたるものを編輯したもの

○甘肅考古記

一冊

アンダーソン氏の攷古學上の旅行記である

○陝西旅行記

一冊

定價五角